

# Contents

演劇芸術監督 小川絵梨子 .....	2
<hr/>	
2019/2020シーズン 演劇 ラインアップ .....	3
シリーズ「ことぜん」Vol.1 五戸真理枝 演出作品 .....	4
シリーズ「ことぜん」Vol.2 瀬戸山美咲 演出作品 .....	5
シリーズ「ことぜん」Vol.3 小川絵梨子 演出作品 .....	6
フルオーディション2 反応工程 .....	7
小山ゆうな 演出作品 .....	9
長塚圭史新作 .....	10
<hr/>	
こつこつプロジェクト —ディベロップメント—	12
ロイヤルコート劇場✕新国立劇場 劇作家ワークショップ	13
<hr/>	
公演一覧(1997.10～2019.7) .....	14

## 2019/2020 シーズン 演劇

### 演劇芸術監督 小川絵梨子



2019/2020シーズンは、昨シーズンから引き続き芸術監督としての方針、三本柱を踏まえた上で、さらに新しい挑戦を重ねてまいります。

まず、シーズン幕開けからの3本の公演は、「ことぜん」というタイトルを掲げてのシリーズとなります。「ことぜん」とは個と全という意味で、個人と国家、個人と社会構造、個人と集団の持つイデオロギーなど、「一人の人間と一つの集合体」の関係をテーマとしています。個と集合体の関係性や、相互作用、その中での軋轢や葛藤を、三人の演出家がそれぞれの作品でそれぞれの視点から描いてまいります。最初の2本の演出には新国立劇場初登場となります五戸真理枝さん、瀬戸山美咲さんをお迎えいたします。3本目は私、小川が担当させていただきます。

同世代の女性の演出家三人がこのシリーズに携わります。

続いて2020年の4月には、「フルオーディション企画 第二弾」となる、宮本研・作『反応工程』をお届けいたします。演出には俳優としても活躍されている千葉哲也さんをお迎えし、6週間を超えるオーディションの末、2018年の12月にキャストが決定いたしました。

7月と8月の公演は、シーズン幕開けに続くシリーズ企画となります。オリンピックとパラリンピック開催に伴い、ご家族で劇場に来て欲しいという願いを込め、「大人も子どもも楽しめる舞台」の二本立てシリーズをお届けいたします。7月には新国立劇場初登場となります、小山ゆうなさんを演出にお迎えし、8月には、これまでも新国立劇場にて大人も子どもも楽しめる舞台をつくって下さった長塚圭史さんの新作を上演いたします。前作に引き続き、コンドルズの近藤良平さん、松たか子さん、首藤康之さんの他、今回はさらにキャストが加わりパワーアップする予定です。

新シーズンは、昨シーズンには成し得なかった「シリーズ企画」を実施いたします。シリーズにすることで、新国立劇場ならではの大きな視点を描き出していければと思っています。

この他に第一シーズンからスタートした「こつこつプロジェクト」の稽古と、非公開での試演会を予定しております。

また、ロンドンにありますロイヤルコートシアターとの共同で、劇作のための長期ワークショップがスタートいたします。ロイヤルコートは、イギリスにおいて「劇作家のための劇場」と呼ばれる最も歴史と功績のある劇場の一つです。ロイヤルコートから企画担当者と劇作家が来日し、2019年-20年の間に、日本の劇作家たちと数回のワークショップを繰り返して新作を作りあげて参ります。ワークショップののちには、イギリス並びに日本でのリーディング公演を目指します。日本の劇作、ひいては演劇界の未来を豊かにする企画と考えております。

この他にもオペラ、舞踊との共同企画に加え、第一シーズンから引き続いてのギャラリープロジェクト（演劇のおしごとシリーズ、演劇塾、公演ガイドツアー）、視聴覚障害者向け観劇サポート等、演劇をより広くより多くのお客様に繋げて行くために邁進して参ります。

#### 〈プロフィール〉

1978年、東京生まれ。2004年、アクターズスタジオ大学院演出部卒業。

06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。

10年、サム・シェパード作『今は亡きヘンリー・モス』の翻訳で第3回小田島雄志・翻訳戯曲賞受賞。

12年、『12人～奇跡の物語～』『夜の来訪者』『プライド』の演出で第19回読売演劇大賞優秀演出家賞、杉村春子賞受賞。

14年『ピロマン』『帰郷・The Homecoming』『OPUS／作品』の演出で第48回紀伊國屋演劇賞個人賞、第16回千田是也賞、第21回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。

最近の演出作品に『スポケーンの左手』『RED』『夜想曲集』『ユビュ王』『CRIMES OF THE HEART 一心の罪一』

『The Beauty Queen of Leenane』『ファン・ホーム』『マクガワン・トリロジー』『出口なし』など。

新国立劇場では『OPUS／作品』『星ノ数ホド』『マリアの首 一幻に長崎を想う曲』『1984』『スカイライト』の演出のほか、『ウィングス・ボーイ』の翻訳も手がけている。18年9月より新国立劇場演劇芸術監督。

# Drama

## 2019/2020 シーズン 演劇 ラインアップ

〈計7演目〉

2019 年 10 月  
シリーズ「ことぜん」Vol.1

### 五戸真理枝 演出作品

演出: 五戸真理枝

2019 年 11 月  
シリーズ「ことぜん」Vol.2

### 瀬戸山美咲 演出作品

演出: 瀬戸山美咲

2019 年 12 月  
シリーズ「ことぜん」Vol.3

### 小川絵梨子 演出作品

演出: 小川絵梨子

2020 年 4 月  
フルオーデション 2

### 反応工程

作: 宮本 研

演出: 千葉哲也

2020 年 5 月

### 作品未定

2020 年 7 月

### 小山ゆうな 演出作品

演出: 小山ゆうな

2020 年 8 月

### 長塚圭史新作

作・演出: 長塚圭史

振付: 近藤良平

新作

# 五戸真理枝 演出作品

A Play Directed by GONOHE Marie

小劇場

演出: 五戸真理枝

Directed by GONOHE Marie

## 企画意図

2019/2020シーズンのオープニング三作品は、個人と国家、個人と社会構造、個人と集団の持つイデオロギーなど、「一人の人間と一つの集合体」の関係についてを大きなテーマとしたシリーズ企画です。

個と集合体の関係性や、相互作用、その中での軋轢や葛藤を、三人の演出家がそれぞれの作品でそれぞれの視点から描きます。

シリーズ第一弾の演出家、五戸真理枝は新国立劇場初演出。

## 演出家 プロフィール

### 五戸真理枝

GONOHE Marie

1980 年、兵庫県生まれ。早稲田大学第一文学部演劇映像専修卒業。2005 年、文学座附属演劇研究所に 45 期生として入所。2010 年、座員昇格。演出助手などとして座内の多数の公演に関わる。

16 年文学座アトリエの会、久保田万太郎作『舵』で初演出。ほかに『年あらそい』『三人姉妹』『阿修羅のごとく』などを演出している。演出助手としては『娼年』『食いしん坊万歳！ 正岡子規青春狂詩曲』『チック』『坂の上の家』『管理人』『中橋公館』『岸 リトラル』などに参加。新国立劇場では『城塞』の演出助手を務める。

演出の他、戯曲や童話の執筆も手掛ける。



# 瀬戸山美咲 演出作品

A Play Directed by SETOYAMA Misaki

小劇場

演出: 瀬戸山美咲

Directed by SETOYAMA Misaki

## 企画意図

2019/2020シーズンのオープニング三作品は、個人と国家、個人と社会構造、個人と集団の持つイデオロギーなど、「一人の人間と一つの集合体」の関係についてを大きなテーマとしたシリーズ企画です。

個と集合体の関係性や、相互作用、その中での軋轢や葛藤を、三人の演出家がそれぞれの作品でそれぞれの視点から描きます。

シリーズ第二弾の演出家、瀬戸山美咲は新国立劇場初演出。

## 演出家 プロフィール

### 瀬戸山美咲

SETOYAMA Misaki

1977年、東京都生まれ。2001年ミナモザを旗揚げし、作・演出を担う。現実の事象を通して、社会と人間を描いた作品を数多く上演。

代表作に振り込め詐欺集団をジェンダー的視点から描いた『エモーショナルレイバー』、震災後の自分自身を描いたドキュメンタリー演劇『ホットパーティクル』、心の基準値を巡る短編『指』、架空の原発事故を描いたドイツの小説の舞台化『みえない雲』など。2016年、パキスタンで起きた日本人大学生誘拐事件を描いた『彼らの敵』が第23回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。他には『埒もなく汚れなく』『始まりのアンティゴネ』『わたし、と戦争』（すべて作・演出）、『グリーンマイル』（上演台本・演出）など、劇団外の活動も多い。演出作品としては『ジハード-Djihad-』『夜、ナク、鳥』『梅子とよっちゃん』などがある。



# 小川絵梨子 演出作品

A Play Directed by OGAWA Eriko

小劇場

演出: 小川絵梨子

Directed by OGAWA Eriko

## 企画意図

2019/2020シーズンのオープニング三作品は、個人と国家、個人と社会構造、個人と集団の持つイデオロギーなど、「一人の人間と一つの集合体」の関係についてを大きなテーマとしたシリーズ企画です。

個と集合体の関係性や、相互作用、その中での軋轢や葛藤を、三人の演出家がそれぞれの作品でそれぞれの視点から描きます。

シリーズ第三弾は小川絵梨子芸術監督が演出。

## 演出家 プロフィール

小川絵梨子

OGAWA Eriko

※2ページを参照



# 反応工程

Reaction Process

小劇場

作:宮本 研

Written by MIYAMOTO Ken

演出:千葉哲也

Directed by CHIBA Tetsuya

出演:天野はな 有福正志 神農直隆 河原翔太 久保田響介

清水 優 神保良介 高橋ひろし 田尻咲良 内藤栄一

奈良原大秦 平尾 仁 八頭司悠友 若杉宏二

Cast: AMANO Hana, ARIFUKU Masashi, KAMINO Naotaka, KAWAHARA Shota, KUBOTA Kyosuke

SHIMIZU Yutaka, JIMBO Ryosuke, TAKAHASHI Hiroshi, TAJIRI Sakura, NAITO EIICHI

NARAHARA Masahiro, HIRAO Jin, YATOJI Yusuke, WAKASUGI Kouji

## 企画意図

毎シーズンに一本、全キャストをオーディションで選考、上演する企画の第二弾として、宮本研が自身の経験をもとに、終戦前夜の軍需工場で生きる人々を鮮やかに描いた『反応工程』を上演します。作り手が新しい俳優と、俳優が新しい演出家と、劇場が新しい作り手たちと出会い、作品を立ち上げていく、小川絵梨子が芸術監督としての柱の一つとして掲げる企画です。

演出には、俳優としても演出家としても新国立劇場で多くの作品に携わってきた千葉哲也を迎え、2018年10月末より12月中旬まで6週間に及ぶオーディションを開催、多数の応募者の中から、14人の俳優陣にご出演いただきます。

## 物語

太平洋戦争の敗色濃い1945年8月、九州中部にある軍需指定工場。戦前は染料を製造するためだった工場も、今ではロケット砲の推進薬を作り出す“反応工程”の現場となっている。

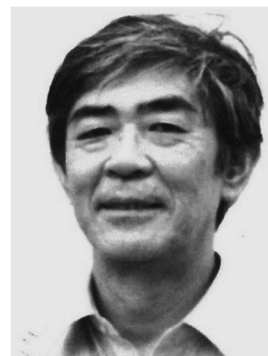
九州高校からきている動員学徒の田宮、林、影山、木戸らも配属され、日夜、古株の工員らと共に汗を流している。勝利を信じる田宮だったが、勤労課の職員である太宰に戦争の本質を説かれ、禁書となっている本を渡される。そんな中、影山に召集命令が下る。ささやかな送別会が開かれたその夜、突然姿を消す影山。広島、長崎に原爆が投下され、いよいよ敗戦が濃厚となる中、工場の大人たちは密かに日本が負けたときの準備をし始める。戦争がまもなく終わるかもしれないという状況の中での爆薬製造作業。いつ徴兵されるかわからない焦燥感。そして、厳しさを増す思想統制の中、ついに田宮にも召集令状が……。

## スタッフ プロフィール

## 宮本 研

MIYAMOTO Ken

1926年熊本県に生まれる。父親の仕事の関係で、38年より中学卒業まで北京で過ごす。44年に帰国、大分経済専門学校(現大分大学経済学部)に入学、12月より翌年敗戦を迎えるまで軍需工場に学徒動員される。九州大学経済学部を経て、高校教師を一年間務めたのち、51年に上京し、在日本韓国人厚生会に勤務、その後、法務省勤務となる。職場演劇サークル「麦の会」発足に携わり、『僕らが歌をうたう時』を創作。その後法務省を退職、劇作に専念。62年、『日本人民共和国』『メカニズム作戦』で第八回岸田國士戯曲賞を受賞。この二作に『反応工程』『ザ・パイロット』を加えたものが「戦後史四部作」と呼ばれる。他に『明治の枢』『美しきものの伝説』『阿Q外傳』『聖グレゴリーの殉教』(以上「革命伝説四部作」)、『夢・桃中軒牛右衛門の』『からゆきさん』『花いちもんめ』『ブルーストッキングの女たち』などの作品がある。88年没。



## 千葉 哲也

CHIBA Tetsuya

1987年、演劇企画集団THE・GAZIRA旗揚げから参加。俳優として様々な舞台で活躍、『すててこてこてこ』『人形の家』『蛮幽鬼』『怪談牡丹灯籠』『ユーリントン』『さよなら溪谷』『罽毘城の七人』『TOPDOG/UNDERDOG』などのほか、新国立劇場では『リア王』『虹を渡る女』『カストリ・エレジー』『新・雨月物語』『キーン…或いは狂気と天才…』『THE OTHER SIDE/線のむこう側』『胎内』『カエル』『焼肉ドラゴン』『アジア温泉』『マニラ瑞穂記』『パーマ屋スマレ』に出演、第5回・第20回・第24回読売演劇大賞優秀男優賞、第39回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。一方で2006年『スラブ・ボーイズ』より演出も手がけ、これまでに『BLUE/ORANGE』『桜の園』『袴垂れはどこだ』『寿歌』『いま、ここにある武器』『青春の門～放浪篇～』『青』『Fully Committed』『サメと泳ぐ』などのほか、新国立劇場では、『怒りをこめてふり返れ』を演出、第24回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。



# 小山ゆうな 演出作品

A Play Directed by KOYAMA Yuna

小劇場

演出: 小山ゆうな

Directed by KOYAMA Yuna

## 作品

2020年夏に開催される、オリンピック、パラリンピックの期間に合わせ、大人も子どもも一緒に楽しめる作品を小劇場と中劇場で二本連続して上演します。小劇場で上演する一本目は、新国立劇場初演出となる小山ゆうなが演出します。

## 演出家 プロフィール

### 小山ゆうな

KOYAMA Yuna

ドイツ・ハンブルク生まれ。早稲田大学第一文学部演劇専修卒業。劇団NLT演出部を経て現在はフリー。アーティストユニット「雷ストレンジャーズ」主宰。最近の演出作に（以下、雷ストレンジャーズ作品）シュニッツラー『緑のオウム亭ー1幕のグロテスク劇』、イプセン『フォルケフィエンデー人民の敵』、ストリンドベリ『父』等。2017年世田谷パブリックシアター主催公演『チック』にて翻訳・演出を手がけ、2017年小田島雄志・翻訳戯曲賞、2018年読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。



2020年8月  
＜新作＞  
A New Play

# 長塚圭史新作

A New Play by NAGATSUKA Keishi

中劇場

作・演出：長塚圭史

Written and Directed by NAGATSUKA Keishi

振付：近藤良平

Choreography by KONDO Ryohei

## 企画意図

2020年夏に開催される、オリンピック、パラリンピックの期間に合わせ、大人も子どもも一緒に楽しめる作品を小劇場と中劇場で二本連続して上演します。

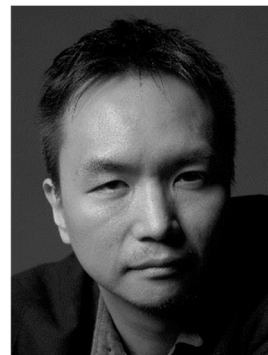
中劇場での二本目は、『音のいない世界で』『かがみのかなたはたなかのなかに』と、大人も子どもも楽しめる作品を作ってきたあの4人がダンサーたちと共にパワーアップして中劇場に帰ってきます。どうぞご期待ください。

## スタッフ プロフィール

### 長塚圭史

NAGATSUKA Keishi

1996年、演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷スパイダース」を結成（2018年『MAKOTO』より劇団化）、作・演出・出演の三役を担う。08年、文化庁新進芸術家海外研修制度にて1年間ロンドンに留学。帰国後の11年、ソロプロジェクト「葛河思潮社」を始動、これまでに『浮標』『冒した者』『背信』を上演。17年、新ユニット「新ロイヤル大衆舎」による北條秀司の代表作『王将』の演出を手がける。ほかに『プレイヤー』『作者を探す六人の登場人物』『ハングマン』『セールスマンの死』。ドラマでは『グーグーだって猫である』『Dr.倫太郎』『99.9-刑事専門弁護士SEASON2-』などに出演。また、雑誌『BAILA』『婦人画報』『Precious』で連載。TOKYO FM『yes!～明日への便り』レギュラー出演。新国立劇場では『アジアの女』（作・演出）『音のいない世界で』『かがみのかなたはたなかのなかに』（作・演出・出演）を手がけた。



### 近藤良平

KONDO Ryohei

父の仕事の関係で幼少期に南米にわたり、日本、ペルー、チリ、アルゼンチンで育つ。1996年にダンスカンパニー「コンドルズ」を旗揚げ、すべての作品の構成・演出を手がける。ミュージカル、CMなど幅広いジャンルで振付家として活躍。2007年、NODA・MAP『THE BEE』で俳優デビュー、映画『ブタがいた教室』にも出演。そのほかNHK『からだであそぼ』『サラリーマンNEO』などに振付出演。新国立劇場には、『音のいない世界で』『かがみのかなたはたなかのなかに』のほか、舞踊公演の振付・出演でも数多く登場している。また立教大学などで非常勤講師としてダンスの指導を行う。現在、0歳児からの子ども向け観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や埼玉県が主催する「近藤良平と障害者によるダンス公演」ハンドルズ公演など、コンテンポラリーダンスの社会貢献に取り組んでいる。第67回芸術選奨文部科学大臣賞、第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。愛犬家。



## こつこつプロジェクト —ディベロップメント—

### スペインの戯曲

作: ヤスミナ・レザ  
翻訳: 穴澤万里子  
演出: 大澤 遊

### リチャード三世

作: ウィリアム・シェイクスピア  
翻訳: 松岡和子  
演出: 西 悟志

### あーぶくたった、にいたった

作: 別役 実  
演出: 西沢栄治

ロイヤルコート劇場 × 新国立劇場 劇作家ワークショップ

---

# こつこつプロジェクト —ディベロップメント—

KOTSU-KOTSU Project —Development—

---

## 概要

「作り手が通常の稽古ではできないことを試し、作り、壊して、また作る場にしたい。」という小川芸術監督の意を受け、長期的に作品を育てていくプロジェクト。

現在、2019年3月のリーディング公演に向けて、各プロジェクトそれぞれがワークショップや、事前読み合わせ稽古を着々と進行中です。

2年目のシーズンは、いよいよ実際の作品創りに入っていきます。具体的には3、4か月ごとに試演を重ね、その都度、演出家と芸術監督、制作スタッフが協議を重ね、上演作品がどの方向に育っていくのか、またその方向性が妥当なのか、そしてその先の展望にどのような可能性が待っているのかを見極めていきます。

## 作品

### ■スペインの戯曲

作：ヤスミナ・レザ 翻訳：穴澤万里子 演出：大澤 遊

「同じ志を持ち、企画に興味を持って下さる人たちと、最後まで楽しく作品に挑んでいきたいと思います。

……最後が何なのか、最後なんてあるのか、わかりませんが。」

(大澤 遊)

### ■リチャード三世

作：ウィリアム・シェイクスピア 翻訳：松岡和子 演出：西 悟志

「しばらく下の方から世の中見てました。あの日、自分はリチャード三世の心底の恨み節と強烈な上昇志向に揺さぶられ共振したのかもしれない。」

(西 悟志)

### ■あーぶくたった、にいたった

作：別役 実 演出：西沢栄治

「『小市民』を見つめ直してみよう。平成が終わり、新しい時代がはじまる今だからこそ、かつての日本人を振り返り総括しよう。という大きなお世話の大計画なのであります。」

(西沢栄治)

---

# ロイヤルコート劇場×新国立劇場 劇作家ワークショップ

Royal Court Theatre, International Playwrights Project in Japan

---

## 企画意図

英国ロンドンのロイヤルコート劇場が世界中で行っている、若い劇作家たちの為の国際的ワークショップを日本で初めて新国立劇場との協力のもと実施いたします。

「劇作家のための劇場」と呼ばれるロイヤルコート劇場。100年以上の歴史を持つこの劇場は「新作戯曲のナショナルシアター」として数多くの若い才能を生み出してきました。

そのロイヤルコート劇場が実施している、劇作家の為の長期ワークショップが日本でスタートいたします。ロイヤルコート劇場から、企画担当者や劇作家が来日し、2019年から2020年の間に3回の時間をかけたワークショップを繰り返し、日本の劇作家たちと新作戯曲を創り上げます。

3回目となるワークショップの後にはリーディングでの発表、さらには作品のロンドンでのリーディング上演を目指します。

## 開催時期と期間

2019年1月～2月にかけてオープンコールにて参加者を募集。2019年5月から2020年5月（予定）の間に3回のワークショップを実施しながら新作戯曲を創り上げます。

# Drama

## 公演一覧

開場記念公演～2018/2019 シーズン

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
開場記念公演	★紙屋町さくらホテル	井上ひさし		渡辺浩子	1997. 10/22
	[蒲田行進曲完結編]銀ちゃんが逝く	つかこうへい		つかこうへい	1997. 11/13
	夜明け前	原作 島崎藤村	脚色 村山知義 補訂脚本 津上 忠	木村光一	1997. 12/04
	リア王	ウィリアム・シェイクスピア	松岡和子	鶴山 仁	1998. 1/17
1998/ 1999	★虹を渡る女	岩松 了		岩松 了	1998. 5/07
	幽霊はここにいる	安部公房		串田和美	1998. 5/12
	★今宵かぎりは… 1928 超巴里井主義宣言の夜	竹内統一郎		栗山民也	1998. 6/12
	★音楽劇 ブッダ	原作 手塚治虫	脚本 佐藤 信	栗山民也	1998. 9/07
	THE PIT フェスティバル				
	カストリ・エレジー スタインベック「二十日鼠と人間」 より	脚本 鐘下辰男		鐘下辰男	1998. 10/03
	神々の国の首都	坂手洋二		坂手洋二	1998. 10/17
	寿歌	北村 想		北村 想	1998. 10/29
	ディア・ライアー すてきな嘘つき	ジェローム・キルティ	丹野郁弓	宮田慶子	1998. 11/04
	野望と夏草	山崎正和		西川信廣	1998. 12/02
	★新・雨月物語		脚本 鐘下辰男	鶴山 仁	1999. 1/11
	子午線の祀り	木下順二	演出 観世栄夫／内山 鶴／酒井 誠／高瀬精一郎		1999. 2/03
	セツアンの善人	ベルトルト・ブレヒト	松岡和子	串田和美	1999. 5/18
	羅生門	原作 芥川龍之介		構成・演出 渡辺和子	1999. 6/04
	棋人 一チーレン	過 士行	菱沼彬晃	林 兆華	1999. 7/01
1999/ 2000	キーン 或いは狂気と天才	J.P.サルトル 上演台本 栗山民也／江守 徹	鈴木力衛	栗山民也	1999. 10/04
	美しきものの伝説		宮本 研	木村光一	1999. 11/04
	一森本薫の世界				
	かくて新年は	森本 薫		宮田慶子	1999. 12/08
	怒濤	森本 薫		マキノノゾミ	2000. 1/11
	華々しき一族	森本 薫		鐘下辰男	2000. 2/09
	★新・地獄変	原作 芥川龍之介	脚本 鐘下辰男	鶴山 仁	2000. 3/23
	なよたけ	加藤道夫		木村光一	2000. 4/11
2000/ 2001	夜への長い旅路	ユージン・オニール	沼澤治治	栗山民也	2000. 5/11
	マクベス	ウィリアム・シェイクスピア	福田恒存翻訳より 潤色 鐘下辰男	鐘下辰男	2000. 9/08
	ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジョン・ワイドマン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2000. 10/02
	欲望という名の電車	テネシー・ウィリアムズ	鳴海四郎	栗山民也	2000. 10/20
	シリーズ「時代と記憶」				
	★memorandum メモランダム	構想・構成 ダムタイプ			2000. 11/27
	★母たちの国へ	松田正隆		西川信廣	2001. 1/10
	★ピカドン・キジムナー	坂手洋二		栗山民也	2001. 2/10
	★こんにちは、母さん	永井 愛		永井 愛	2001. 3/12
	★夢の裂け目	井上ひさし		栗山民也	2001. 5/08
	紙屋町さくらホテル	井上ひさし		渡辺浩子／井上ひさし	2001. 4/04
	贋作・桜の森の満開の下	野田秀樹		野田秀樹	2001. 6/01

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2001/ 2002	海外招待作品 Vol.1 太陽劇団 堤防の上の鼓手	エレーヌ・シクスー	字幕翻訳 松本伊瑳子	アリアーヌ・ムヌーシュキン	2001. 9/07
	コペンハーゲン	マイケル・フレイン	平川大作	鵜山 仁	2001. 10/29
	★美女で野獣	荻野アンナ		宮田慶子	2001. 12/10
	シリーズ チェーホフ・魂の仕事				
	Vol.1 かもめ	アントン・チェーホフ	英訳 マイケル・フレイン 翻訳 小田島雄志	マキノノゾミ	2002. 1/11
	Vol.2 くしゃみ／the Sneeze	アントン・チェーホフ	台本 マイケル・フレイン 翻訳 小田島恒志	熊倉一雄	2002. 2/28
	Vol.3 ★「三人姉妹」を追放されし トウゼンバフの物語	岩松 了		岩松 了	2002. 4/01
	Vol.4 ワーニャおじさん 四幕の田園生活劇	アントン・チェーホフ	小野理子	栗山民也	2002. 5/09
	Vol.5 櫻の園	アントン・チェーホフ	潤色 堀越 真(神西清翻訳による)	栗山民也	2002. 6/21
	★その河をこえて、五月	平田オリザ／金 明和		李 炳熹／平田オリザ	2002. 6/03
2002/ 2003	海外招待作品 Vol.2 国際チェーホフ演劇祭 in モスクワ ハムレット	ウィリアム・シェイクスピア		ペーター・シュタイン	2002. 9/07
	ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジョン・ワイドマン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2002. 10/11
	★アヤジルシ 一誘われて	太田省吾		太田省吾	2002. 11/12
	シリーズ「現在へ、日本の劇」				
	①ピルグリム	鴻上尚史		鴻上尚史	2003. 1/14
	②浮標	三好十郎		栗山民也	2003. 2/19
	③マッチ売りの少女	別役 実		坂手洋二	2003. 4/08
	④サド侯爵夫人	三島由紀夫		鐘下辰男	2003. 5/26
	★涙の谷、銀河の丘	松田正隆		栗山民也	2003. 5/13
	★ゴロヴリョフ家の人々	原作 サルティコフ・シCHEDリン	翻訳 湯浅芳子 脚本 永井 愛	永井 愛	2003. 6/18
2003/ 2004	★nocturne 一月下の歩行者	構成 松本雄吉		松本雄吉	2003. 9/08
	★夢の泪	井上ひさし		栗山民也	2003. 10/09
	世阿彌	山崎正和		栗山民也	2003. 11/27
	シリーズ「女と男の風景」				
	①海外招待作品 Vol.3 香港・劇場組合 The Game /ザ・ゲーム	ウジェーヌ・イヨネスコの悲喜劇 『椅子』より 翻案 ジム・チム／ オリヴィア・ヤン	字幕 角田美知代	ジム・チム／ オリヴィア・ヤン	2004. 2/20
	② ★THE OTHER SIDE ／線のむこう側	アリエル・ドーフマン	水谷八也	孫 振策	2004. 4/12
	③★てのひらのこびと		鈴江俊郎	松本祐子	2004. 5/11
	④請願 一静かな叫びー	ブライアン・クラーク	吉原豊司	木村光一	2004. 6/22
	こんにちば、母さん	永井 愛		永井 愛	2004. 3/10
	透明人間の蒸気	野田秀樹		野田秀樹	2004. 3/17
	ブロードウェイ・ミュージカル INTO THE WOODS	作詞・作曲 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェイムズ・ラバイン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2004. 6/09

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2004/ 2005	THE LOFT 小空間からの提案				
	胎内	三好十郎		栗山民也	2004. 10/04
	◎ ★ヒトノカケラ	篠原久美子		宮崎真子	2004. 10/22
	★二人の女兵士の物語	坂手洋二		坂手洋二	2004. 11/08
	喪服の似合うエレクトラ	ユージン・オニール	沼澤治治	栗山民也	2004. 11/16
	★城	原作 フランツ・カフカ	構成 松本 修	松本 修	2005. 1/14
	シリーズ 笑い				
	①花咲く港	菊田一夫		鶴山 仁	2005. 3/14
	②★コミュニケーションズ 現代劇作家によるコント集	作 綾田俊樹／いとうせいこう／ケラリーノ・サンドロヴィッチ／杉浦久幸 高橋徹郎／竹内 佑／鄭 義信／土田英生／別役 実／ふじきみつ彦／武藤真弓 原作使用 筒井康隆		構成・演出 渡辺えり子	2005. 4/08
	③★箱根強羅ホテル	井上ひさし		栗山民也	2005. 5/19
2005/ 2006	④うら騒ぎ ノイズ・オフ	マイケル・フレイン	小田島恒志	白井 晃	2005. 6/27
	その河をこえて、五月	平田オリザ／金 明和		李 炳熹／平田オリザ	2005. 5/13
	海外招待作品 Vol.4 ベルリナー・アンサンブル アルトゥロ・ウィの興隆	ベルトルト・ブレヒト	イヤホンガイド翻訳 新野守広	ハイナー・ミュラー	2005. 6/22
	◎黒いチューリップ／盲導犬	唐 十郎		中野敦之	2005. 9/27
	◎屋上庭園／動員挿話	岸田國士		宮田慶子〈屋上庭園〉 深津篤史〈動員挿話〉	2005. 10/31
	母・肝っ玉とその子供たち —三十年代戦争年代記	ベルトルト・ブレヒト	谷川道子	栗山民也	2005. 11/28
	ガラスの動物園	テネシー・ウィリアムズ	小田島雄志	イリーナ・ブルック	2006. 2/09
	十二夜	ウィリアム・シェイクスピア	脚本 山崎清介 小田島雄志翻訳による	山崎清介	2006. 3/07
	シリーズ「われわれは、どこへいくのか」				
	①★カエル	過 士行	菱沼彬晃	鶴山 仁	2006. 4/01
2006/ 2007	◎ ②★マテリアル・ママ		岩松 了	岩松 了	2006. 4/19
	③★やわらかい服を着て	永井 愛		永井 愛	2006. 5/22
	④★夢の痲	井上ひさし		栗山民也	2006. 6/28
	ブロードウェイ・ミュージカル Into the Woods	作詞・作曲 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェイムズ・ラパイン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2006. 5/19
	★アジアの女	長塚圭史		長塚圭史	2006. 9/28
	「劇的な情念をめぐって」—世界の名作より—				
	シラノ・ド・ベルジュラック	原作 エドモン・ロスタン	翻訳 辰野 隆／ 鈴木信太郎	構成・演出 鈴木忠志	2006. 11/02
	イワーノフ／ オイディプス王	原作 アントン・チェーホフ 原作 ソフォクレス	翻訳 池田健太郎 日本語 福田恒存 ドイツ語 ヘルダーリン	構成・演出 鈴木忠志	2006. 11/04
	◎ ★エンジョイ	岡田利規		岡田利規	2006. 12/07
	コペンハーゲン	マイケル・フレイン	平川大作	鶴山 仁	2007. 3/01
2007	★CLEANSKINS /きれいな肌	シャン・カーン	小田島恒志	栗山民也	2007. 4/18
	★下周村 一花に嵐のたえもあるさー	平田オリザ／李 六乙		李 六乙／平田オリザ	2007. 5/15
	夏の夜の夢	ウィリアム・シェイクスピア	松岡和子	ジョン・ケアード	2007. 5/31
	氷屋来たる	ユージン・オニール	沼澤治治	栗山民也	2007. 6/18

★=新作 ◎=THE LOFT 公演

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2007/ 2008	「三つの悲劇」ーギリシャから				
	Vol.1 ★アルゴス坂の白い家 ークリュタイムストラー	川村 毅		鵜山 仁	2007. 9/20
	Vol.2 ★たとえば野に咲く花のように ーアンドロマケー	鄭 義信		鈴木裕美	2007. 10/17
	Vol.3 ★異人の唄 ーアンティゴネー	土田世紀	脚色 鐘下辰男	鐘下辰男	2007. 11/14
	屋上庭園／動員挿話	岸田國士		宮田慶子〈屋上庭園〉 深津篤史〈動員挿話〉	2008. 2/26
	★焼肉ドラゴン	鄭 義信		梁 正雄／鄭 義信	2008. 4/17
	オットーと呼ばれる日本人	木下順二		鵜山 仁	2008. 5/27
	シリーズ・同時代				
	Vol.1 ★鳥瞰図 ーちようかんずー	早船 聡		松本祐子	2008. 6/11
	Vol.2 ★混じりあうこと、消えること	前田司郎		白井 晃	2008. 6/27
	Vol.3 ★まほろば	蓬萊竜太		栗山民也	2008. 7/14
2008/ 2009	近代能楽集『綾の鼓』『弱法師』	三島由紀夫		前田司郎〈綾の鼓〉 深津篤史〈弱法師〉	2008. 9/25
	山の巨人たち	ルイジ・ピランデルロ	翻訳 田之倉稔	ジョルジュ・ラヴオーダン	2008. 10/23
	舞台は夢 ーイリュージョン・コミックー	ピエール・コルネイユ	翻訳 伊藤 洋	鵜山 仁	2008. 12/03
	シリーズ・同時代【海外編】				
	Vol.1 昔の女	ローラント・シンメルブフェニヒ	翻訳 大塚 直	倉持 裕	2009. 3/12
	Vol.2 シュート・ザ・クロウ	オーウェン・マカファーティ	翻訳 浦辺千鶴／ 小田島恒志	田村孝裕	2009. 4/10
	Vol.3 タトゥー	デーア・ローアー	翻訳 三輪玲子	岡田利規	2009. 5/15
	夏の夜の夢	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	ジョン・ケアード	2009. 5/29
2009/ 2010	★現代能楽集 鶴	坂手洋二		鵜山 仁	2009. 7/02
	ヘンリー六世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鵜山 仁	
	第一部 百年戦争				2009. 10/27
	第二部 敗北と混乱				2009. 10/28
	第三部 薔薇戦争				2009. 10/29
	象	別役 実		深津篤史	2010. 3/05
	東京裁判三部作	井上ひさし		栗山民也	
	夢の裂け目				2010. 4/04
	夢の泪				2010. 5/06
	夢の痲かさぶた				2010. 6/03
2010/ 2011	★エネミイ	蓬萊竜太		鈴木裕美	2010. 7/01
	[JAPAN MEETS… ー現代劇の系譜をひもとくー]				
	I ヘッダ・ガーブレ	ヘンリック・イブセン	翻訳 アンネ・ランデ・ペータス ／長島 確	宮田慶子	2010. 9/17
	II やけたトタン屋根の上の猫	テネシー・ウィリアムズ	翻訳 常田景子	松本祐子	2010. 11/09
	III わが町	ソートン・ワイルダー	翻訳 水谷八也	宮田慶子	2011. 1/13
	IV ゴドーを待ちながら	サミュエル・ベケット	翻訳 岩切正一郎	森 新太郎	2011. 4/15
	焼肉ドラゴン	鄭 義信	翻訳 川原賢柱	鄭 義信	2011. 2/07
	鳥瞰図 ーちようかんずー	早船 聡		松本祐子	2011. 5/10
	雨	井上ひさし		栗山民也	2011. 6/09
	★おどくみ	青木 豪		宮田慶子	2011. 6/27

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2011/ 2012	<b>【美×劇】</b> —滅びゆくものに託した美意識—				
	I 朱雀家の滅亡	三島由紀夫		宮田慶子	2011. 9/20
	II ★イロアセル	倉持 裕		鶴山 仁	2011. 10/18
	III 天守物語	泉 鏡花		白井 晃	2011. 11/05
	★パーマ屋スマレ	鄭 義信		鄭 義信	2012. 3/05
	まぼろば	蓬莱竜太		栗山民也	2012. 4/02
	負傷者 16 人 —SIXTEEN WOUNDED—	エリウム・クライエム	翻訳 常田景子	宮田慶子	2012. 4/23
	<b>【JAPAN MEETS…</b> <b>—現代劇の系譜をひもとく—</b>				
	V サロメ	オスカー・ワイルド	翻訳 平野啓一郎	宮本亜門	2012. 5/31
2012/ 2013	VI 温室	ハロルド・ピンター	翻訳 喜志哲雄	深津篤史	2012. 6/26
	リチャード三世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	2012. 10/03
	<b>【JAPAN MEETS…</b> <b>—現代劇の系譜をひもとく—</b>				
	VII りつぽ	アーサー・ミラー	翻訳 水谷八也	宮田慶子	2012. 10/29
	★音のいない世界で	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2012. 12/23
	長い墓標の列	福田善之		宮田慶子	2013. 3/07
	<b>With 一つながる演劇—</b>				
	★ウェールズ編『効率学のススめ』	アラン・ハリス	翻訳 長島 確	ジョン・E・マグラ	2013. 4/09
	★韓国編 アジア温泉	鄭 義信	翻訳 朴 賢淑	孫 振策	2013. 5/10
	★ドイツ編 つく、きえる	ローラント・シメルプフェニヒ	翻訳 大塚 直	宮田慶子	2013. 6/04
2013/ 2014	象	別役 実		深津篤史	2013. 7/02
	<b>Try・Angle —三人の演出家の視点—</b>				
	Vol.1 OPUS / 作品	マイケル・ホリンガー	翻訳 平川大作	小川絵梨子	2013. 9/10
	Vol.2 エドワード二世	クリストファー・マーロー	翻訳 河合祥一郎	森 新太郎	2013. 10/08
	Vol.3 アルトナの幽閉者	ジャン＝ポール・サルトル	翻訳 岩切正一郎	上村聡史	2014. 2/19
	<b>【JAPAN MEETS…</b> <b>—現代劇の系譜をひもとく—</b>				
	VIII ビグマリオン	ジョージ・バーナード・ショー	翻訳 小田島恒志	宮田慶子	2013. 11/13
	マニラ瑞穂記	秋元松代		栗山民也	2014. 4/03
	テンベスト	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	白井 晃	2014. 5/15
	★十九歳のジェイコブ	原作 中上健次	脚本 松井 周	松本雄吉	2014. 6/11
2014/ 2015	永遠の瞬間 —Time Stands Still—	ドナルド・マーグリーズ	翻訳 常田景子	宮田慶子	2014. 7/08
	<b>【JAPAN MEETS…</b> <b>—現代劇の系譜をひもとく—</b>				
	IX 三文オペラ	ベルトルト・ブレヒト	翻訳 谷川道子	宮田慶子	2014. 9/10
	<b>二人芝居 対話するカー</b>				
	Vol.1 プレス・オブ・ライフ～女の肖像～	デイヴィッド・ヘア	翻訳 鶴澤麻由子	蓬莱竜太	2014. 10/08
	Vol.2 ご臨終	モーリス・パニッチ	翻訳 吉原豊司	ノゾエ征爾	2014. 11/05
	Vol.3 星ノ数ホド	ニック・ペイン	翻訳 浦辺千鶴	小川絵梨子	2014. 12/03
	ウィンズロウ・ボーイ	テレンス・ラティガン	翻訳 小川絵梨子	鈴木裕美	2015. 4/09
	<b>【JAPAN MEETS…</b> <b>—現代劇の系譜をひもとく—</b>				
	X 海の夫人	ヘンリック・イブセン	翻訳 アンネ・ランデ・ペータス ／長島 確	宮田慶子	2015. 5/13
	東海道四谷怪談	鶴屋南北	上演台本 フジノサツコ	森 新太郎	2015. 6/10
	★かがみのかなたはたなかのなかに	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2015. 7/06

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2015/ 2016	パッション	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェームス・ラパイン	翻訳 浦辺千鶴 訳詞 竜 真知子	宮田慶子	2015. 10/16
	桜の園	アントン・チェーホフ	翻訳 神西 清	鶴山 仁	2015. 11/11
	バグダッド動物園のベンガルタイガー	ラジヴ・ジョセフ	翻訳 平川大作	中津留章仁	2015. 12/08
	鄭義信 三部作				
	焼肉ドラゴン	鄭 義信		鄭 義信	2016. 3/07
	たとえば野に咲く花のように	鄭 義信		鈴木裕美	2016. 4/06
	パーマ屋スマレ	鄭 義信		鄭 義信	2016. 5/17
	あわれ彼女は娼婦	ジョン・フォード	翻訳 小田島雄志	栗山民也	2016. 6/08
	★「かぐや姫伝説」より月・こうこう・風・そうそう	別役 実		宮田慶子	2016. 7/13
2016/ 2017	フリック	アニー・ベイカー	翻訳 平川大作	マキノノゾミ	2016. 10/13
	ヘンリー四世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	
	第一部 -混沌-				2016. 11/26
	第二部 -戴冠-				2016. 11/27
	かさなる視点 -日本戯曲のカー-				
	Vol.1 白蟻の巣	三島由紀夫		谷 賢一	2017. 3/02
	Vol.2 城塞	安部公房		上村聡史	2017. 4/13
	Vol.3 マリアの首 -幻に長崎を想う曲-	田中千禾夫		小川絵梨子	2017. 5/10
	[JAPAN MEETS... -現代劇の系譜をひもとく-]				
	XI 君が人生の時	ウィリアム・サローヤン	翻訳 浦辺千鶴	宮田慶子	2017. 6/13
2017/ 2018	XII 怒りをこめてふり返れ	ジョン・オズボーン	翻訳 水谷八也	千葉哲也	2017. 7/12
	トロイ戦争は起こらない	ジャン・ジロドゥ	翻訳 岩切正一郎	栗山民也	2017. 10/05
	プライムたちの夜	ジョーダン・ハリソン	翻訳 常田景子	宮田慶子	2017. 11/07
	かがみのかなたはたなかのなかに	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2017. 12/05
	赤道の下のマクベス	鄭 義信		鄭 義信	2018. 3/06
	1984	原作 ジョージ・オーウェル	脚本 ロバート・アイク ／ダンカン・マクミラン 翻訳 平川大作	小川絵梨子	2018. 4/12
	ヘンリー五世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	2018. 5/17
	夢の裂け目	井上ひさし		栗山民也	2018. 6/04
	★消えていくなら朝	蓬萊竜太		宮田慶子	2018. 7/12
	誤解	アルベール・カミュ	翻訳 岩切正一郎	稲葉賀恵	2018. 10/04
2018/ 2019	誰もいない国	ハロルド・ピンター	翻訳 喜志哲雄	寺十 吾	2018. 11/08
	スカイライト	デイヴィッド・ヘア	翻訳 浦辺千鶴	小川絵梨子	2018. 12/01
	フルオーデション1				
	かもめ	作 アントン・チェーホフ 台本 トム・ストッパード	翻訳 小川絵梨子	鈴木裕美	2019. 4/11
	★少年王者館 1001	天野天街		天野天街	2019. 5/14
	オレスティア	原作 アイスキュロス 作 ロバート・アイク	翻訳 平川大作	上村聡史	2019. 6/06
	★骨と十字架	野木萌葱		小川絵梨子	2019. 7/06
	こつこつプロジェクト -ディベロップメント- リーディング公演				
	リチャード三世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	西 悟志	2019. 3/13
	あーぶくたった、にいたった	別役 実		西沢 栄治	2019. 3/14
	スペインの戯曲	ヤスミナ・レザ	翻訳 穴澤万里子	大澤 遊	2019. 3/15

★=新作

---

## MEMO